

令和元年度 保幼小連携地区ブロック活動報告書

1 地区ブロック名 荒砥 地区ブロック
 今年度のテーマ ポイントとなる姿（言葉による伝え合い）

2 地区ブロックの組織

- ・認定こども園二之宮保育園 ・荒砥保育所
- ・認定こども園慈照幼稚園 ・認定こども園清華幼稚園
- ・大室小学校 ・二之宮小学校 ・荒子小学校

3 連携推進活動（実施した交流活動等）

日 時	場 所	内 容
5月16日（木）	総合福祉会館	・第1回地区ブロック会議 計画立案・情報交換
6月12日（水）	荒子小学校	・学校公開
6月28日（金）	大室小学校	・学校公開
	二之宮小学校	・学校公開
7月24日（水）	荒砥保育所	・夏祭り・交流活動 修了した1年生を招待
9月 7日（土）	慈照幼稚園	・運動会
9月21日（土）	大室小学校	・運動会
	二之宮小学校	・運動会
	荒子小学校	・運動会
9月28日（土）	荒砥保育所	・運動会
10月 3日（木）	荒子小学校	・就学時健康診断
10月 5日（土）	清華幼稚園	・運動会
10月25日（金）	大室小学校	・就学時健康診断
11月 2日（土）	二之宮保育園	・運動会
11月12日（火）	二之宮小学校	・就学時健康診断
11月13日（水）	大室小学校	・持久走大会・学校公開
	二之宮小学校	・持久走大会・学校公開
○ 11月19日（火）	荒子小学校	・地区ブロック研修会・授業公開
11月27日（水）	荒子小学校	・「あきランド」 荒砥保育所年長児との交流
2～3月	小学校 保育所（園） 幼稚園	・新入学予定児についての 情報交換

4 令和2年度の代表校園所【 二之宮小学校 】

5 これからの保育・教育に生かしたいこと

- ・ 保幼小の連携の大切さについて改めて考えました。子どもの育ちを我々が連携し、つながりながら支えていく必要があると感じています。今回の研修テーマは「言葉による伝え合い」で興味深いものでした。保育所で、子どもの思い、言葉を十分に受け止め、安心して言葉のやりとりを楽しみ、活発になっていくようアドバイスを生かしたいと思います。年長児を担当しているので、小学校での1年生の様子や態度を見て、感心し、小学校への成長の道すがら少しずつイメージができる機会となりました。また、研修内容の「あきランド」に保育所の子ども達を招待していただき、11月27日(水)に実際参加させていただきました。たった1週間しかたっていないはずですが、1年生は「言葉による伝え合い」を十分に行い、接し方、表情なども工夫しながら年長児に優しく関わってくれました。年長児の表情も緊張から安心へと変わり、おもいきり楽しむことができました。小学校入学への期待も高まった様子でした。今後もつながりを大切にしていきたいと思います。
- ・ 「あきランド」の授業で、子どもたちが生き生きと自主的に活動しており、子どもたちなりにいろいろな経験をしていることが分かりました。その後の話し合いでは、子どもたちが感じた改善点や相手への言葉の伝え方など、次々と発言しており、経験をすることにより、言葉で伝え合うことができることを実感いたしました。幼稚園でも、たくさんの経験が出来るようにし、子ども達に豊かな言葉を伝え、日々生活できるようにしていきたいと思いました。
- ・ 年長児として、年少さんの面倒を見て行事に参加することもあるけれど、「小さい子はどんな子か、どうかかわってあげたらいいのか」と考えられるよう、話をして意識をしていきたい。
- ・ 話を聞くときの約束で「話している人の方を向いて、目を見て聴こう」と伝えていているけれど、「目で見る、へそを向ける、耳で聴く、口は閉じる、心で聴く」と細かく意味を伝えて、特に心で聴くを大切にしていきたい。
- ・ お店屋さんごっこで、「品物を作って売る」ことをいつもしているけれど、「遊んで景品を渡す」という楽しみ方もよいなと思い、お店屋さんごっこをするときに提案してみたいと思った。
- ・ 普段、小学校の先生や幼稚園の先生とお話しする機会が少ないので、こういった時間は凄く大切だと感じた。今回は小学校での公開授業だったが、子どもたちが積極的に手をあげたり、質問に答えたり、またお友達(グループ)で協力をし、話し合う姿が印象的でした。あきランドへ向けての練習を行っていたが、各グループで話し合いを行い、事前準備を一生懸命行っていたことが、授業を見て分かった。また、先生のアドバイスもよかった。

- ・ 話をする人が気を付けることのなかに「こころ」というものが入っていて、その言葉を聞いた子どもたちの反応から、子どもたちに日々の指導が行き届いているように感じました。自分も日々の生活の中で「こころ」を大切に、あたたかいクラスをつくりたいと思いました。
- ・ 幼児教育アドバイザーの梅津先生のお話の中で、たくさんの「～する楽しさ」を教えていただいたので、目の前の子どもたちにたくさんの楽しさを与えられる授業を目指したいと思いました。
- ・ 感想や、意見、振り返りなどで児童が自分の思いをもつために、たくさん遊びを経験させること。たくさんの遊びが「あきランド」で経験でき児童が心から楽しんでいるのが分かりました。遊びのバリエーションが豊富で、まねさせていたいただきたいものばかりでした。
- ・ 話し合いにおいて必要な観点を、皆で共有すること。分かりやすいマークで示されていてとても勉強になりました。
- ・ 児童に表現させるために、言語環境を豊かにすること。
- ・ 学びが楽しければ、児童は自ずと主体的・意欲的になるので、楽しい授業経営をすること。

